

三小タイムズ

令和3年2月1日発行 校長 辻 久恵

道徳授業（1年2組）

主題名 しんせつにすること

題材名 くりのみ

内容項目 B親切、思いやり

本時のねらい

うそをついたきつねが、うさぎの親切な行為を受けて心を揺さぶられる姿を通して、他人に親切に接することの難しさと大切さについて考えさせ、様々な人に対して思いやりをもって接しようとする心情を育てる。

学習の展開

1 事前のアンケート結果を提示し、ねらいとする価値への方向付けをする。

○1年2組には親切な人がたくさんいます。でも、「いつでも親切にできるか。」では「できないときもある。」にした人もいました。

- ・自分が遊んでいたたり、何かをしていたりすると忘れてしまう。
- ・自分が怒っている時は親切にできない。

2 「くりのみ」を聞いて話し合う。

○きつねはどんぐりを隠している時、何を考えたのでしょうか。

- ・誰にも見つからないように隠そう。
- ・他の人に取られないようにしたい。

○「だめだめ、何も見付かりませんでした。」と、どうしてきつねは嘘をついてしまったのでしょうか。

- ・あると言ったら、他の人に食べられちゃうから。
- ・自分だけの秘密。
- ・ばれちゃう。

○うさぎはくりのみを渡す前に、どんなことをしばらく考えていたのでしょうか。

- ・きつねさんは何にもとれていないからかわいそう。
- ・2つとれたから、一つずつしよう。

○二人はどんなところが違いましたか。

- ・うさぎさんは親切で一つきつねさんにあげた。きつねさんはうそをついて悪い。

○きつねは涙を流しながら何を考えていたのでしょうか。

- ・くりのみをくれてありがとう。
- ・ぼくはうそをついたのに、うさぎさんやさしいな。
- ・本当にもらっていいの。(自分はうそをついてあげなかったのに)

3 自分自身を振り返る。

○今日は「親切にすること」についてどんなことを考えましたか。

- ・親切にする方もされる方も嬉しくなる。よかったなと思う。
- ・相手の気持ちを考えなくてはいけない。自分も親切にしよう。

4 学びを振り返る

○絵本「しんせつなともだち」の紹介を聞く。

